

2021年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年2月5日

上場会社名 ミネベアミツミ株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 6479 URL <https://www.minebeamitsumi.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長執行役員 (氏名) 貝沼 由久
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山本 光伸 TEL 03-6758-6711
 四半期報告書提出予定日 2021年2月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	737,439	△1.9	42,516	△8.1	41,641	△9.9	33,014	△9.3	32,984	△7.2	40,381	10.0
2020年3月期第3四半期	751,548	7.5	46,246	△28.9	46,219	△28.5	36,380	△29.2	35,547	△30.3	36,694	△24.8

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	80.76	78.98
2020年3月期第3四半期	85.64	83.77

(注) 2020年3月期末において、株式会社ユーシンの取得による企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	954,715	430,418	427,845	44.8
2020年3月期	864,481	402,276	394,372	45.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2021年3月期	—	14.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	980,000	0.2	58,000	△1.1	45,000	△2.1	110.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）エイブリック株式会社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	427,080,606株	2020年3月期	427,080,606株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	18,678,265株	2020年3月期	18,676,128株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	408,403,546株	2020年3月期3Q	415,073,353株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(アナリスト向け決算説明会資料の入手方法)

2021年2月5日(金)に、決算説明会資料を当社ウェブサイト(<https://www.minebeamitsumi.com/>)に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
要約四半期連結損益計算書	6
要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)のわが国の経済は、新型コロナウイルス感染拡大により輸出及び消費が大幅に減少したものの、世界的な自動車販売の持ち直しや中国向けを中心とした輸出の回復を背景に最悪期は脱しつつありますが、依然として先行きが不透明な状況が続いております。米国経済は、積極的な金融緩和が行われておりますが、新型コロナウイルス感染拡大による世界景気の下振れから輸出や設備投資が大幅に減少しております。欧州経済は、新型コロナウイルス感染長期化によるロックダウンの実施により、景気が大きく減退しております。アジア地域においては、中国の経済活動の再開に加え、中国政府からのインフラや不動産、情報通信投資の促進策などにより景気は回復基調にありますが、米中貿易摩擦のさらなる激化が懸念されるなど先行きは不透明な状況です。

当社グループは、かかる経営環境下で、収益力のさらなる向上を実現するために、徹底したコスト削減、高付加価値製品と新技術の開発及び拡販活動に注力してまいりました。

この結果、売上高は737,439百万円と前年同期比14,109百万円(△1.9%)の減収となりました。営業利益は42,516百万円と前年同期比3,730百万円(△8.1%)の減益、税引前四半期利益は41,641百万円と前年同期比4,578百万円(△9.9%)の減益、親会社の所有者に帰属する四半期利益は32,984百万円と前年同期比2,563百万円(△7.2%)の減益となりました。

なお、2020年4月30日付でエイブリック株式会社を子会社化し、経営統合を実施したことに伴い、同社を連結対象に組み入れております。上記には、統合日以降の同社の損益が含まれております。

また、前連結会計年度末において、株式会社ユーシンの取得による企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前年同期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

セグメント別の経営成績を示すと、次のとおりであります。

機械加工品事業は、当社グループの主力であるボールベアリングのほか、主として航空機に使用されるロッドエンドベアリング、ハードディスク駆動装置(HDD)用ピボットアッセンブリー等のメカニカルパーツ及び航空機用のねじが主な製品であります。主力製品であるボールベアリングは、ファンモーター向けにおいて需要が堅調に推移しましたが、自動車向けの需要減等により売上高は減少しました。ロッドエンドベアリングは、航空機関連の需要減により売上高は減少しました。ピボットアッセンブリーは、HDD市場の縮小を受け売上高は減少しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は113,268百万円と前年同期比23,161百万円(△17.0%)の減収となり、営業利益は22,376百万円と前年同期比8,120百万円(△26.6%)の減益となりました。

電子機器事業は、電子デバイス(液晶用バックライト等のエレクトロデバイス、センシングデバイス(計測機器)等)、HDD用スピンドルモーター、ステッピングモーター、DCモーター、エアームーバー及び特殊機器が主な製品であります。液晶用バックライトはスマートフォンにおける採用モデルの減少に伴う需要減により、売上高は減少となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は268,952百万円と前年同期比21,438百万円(△7.4%)の減収となり、営業利益は11,969百万円と前年同期比2,870百万円(△19.3%)の減益となりました。

ミツミ事業は、半導体デバイス、光デバイス、機構部品、高周波部品及び電源部品が主な製品であります。半導体デバイス、光デバイス、ゲーム機器等の機構部品が好調に推移し、売上高は増加しました。

なお、エイブリック株式会社の取得に伴い、ミツミ事業に同社の損益が含まれております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は281,617百万円と前年同期比51,796百万円(22.5%)の増収となり、営業利益は18,940百万円と前年同期比4,486百万円(31.0%)の増益となりました。

ユーシン事業は、キーセット、ドアラッチ、ドアハンドル等の自動車部品のほか、産業機器用部品、住宅機器用部品(ビル、住宅用錠前その他)が主な製品であります。自動車部品は、自動車市場減速により売上が大幅に減少しました。産業機器用部品においても市場の減速により売上が減少しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は72,870百万円と前年同期比21,397百万円(△22.7%)の減収となり、営業利益は689百万円と前年同期比2,195百万円(△76.1%)の減益となりました。

その他の事業は、自社製機械が主な製品であります。当第3四半期連結累計期間の売上高は732百万円と前年同期比91百万円(14.2%)の増収、営業損失は1,335百万円と前年同期比217百万円の悪化となりました。

上記以外に、各セグメントに帰属しない全社費用等10,123百万円を調整額として表示しております。前年同期の調整額は15,309百万円でした。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

当社グループは、「財務体質の強化」を主要な経営方針とし、効率的な設備投資、資産運用及び有利子負債の削減等に取り組んでおります。高収益のコア事業への比重を高めるポートフォリオ改革や実効性の高いM&Aを実現し、適切かつ機動的な財務戦略を推進いたします。

当第3四半期連結会計期間末における総資産は954,715百万円となり、前連結会計年度末に比べ90,234百万円の増加となりました。その主な要因は、営業債権及びその他の債権、のれん、有形固定資産の増加であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は524,297百万円となり、前連結会計年度末に比べ62,092百万円の増加となりました。その主な要因は、社債及び借入金の増加であります。

なお、資本は430,418百万円となり、親会社所有者帰属持分比率は44.8%と前連結会計年度末比0.8ポイント減少しました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は134,497百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,751百万円増加しました。

当第3四半期連結累計期間の各活動におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、43,744百万円の収入(前年同期は52,706百万円の収入)となりました。これは、主に税引前四半期利益、減価償却費及び償却費、営業債権及びその他の債権の増減、営業債務及びその他の債務の増減等によるものです。投資活動によるキャッシュ・フローは、57,781百万円の支出(前年同期は36,398百万円の支出)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出等によるものです。財務活動によるキャッシュ・フローは、19,884百万円の収入(前年同期は9,830百万円の支出)となりました。これは、主に短期借入金の増減等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の実績が当初の見込みを上回ったことに加え、第4四半期も引き続きエレクトロデバイス、半導体、ボールベアリング等の堅調な需要が見込まれることから、昨年11月に修正させていただいた業績予想を売上高について、9,400億円から9,800億円に、営業利益について、500億円から580億円に、親会社の所有者に帰属する当期利益については390億円から450億円にそれぞれ上方修正いたしました。

なお、一時的な費用(構造改革費用、エイブリックのPPAなど)が発生する可能性があります。現在精査中のため上記の業績予想には含めておりません。

通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A) (2020年11月6日発表)	940,000	50,000	39,000
今回修正予想(B)	980,000	58,000	45,000
増減額(B-A)	40,000	8,000	6,000

(4) 利益分配に関する基本方針及び当期の配当

当社は、株主に対する利益還元を経営上の重要事項と認識しており、経営環境を総合的に勘案し、継続的に安定した利益分配を維持しながら、株主資本の効率向上と株主へのより良い利益分配を第一義とし、業績をより反映した水準での利益還元をはかることを基本方針といたします。

この基本方針に基づき、1株当たり14円の間配当を行いました。また、期末配当金については、1株当たり14円を予定しております。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	130,746	134,497
営業債権及びその他の債権	182,890	214,303
棚卸資産	169,803	174,251
その他の金融資産	18,057	20,004
その他の流動資産	14,375	19,454
流動資産合計	515,871	562,509
非流動資産		
有形固定資産	275,064	288,320
のれん	18,626	43,842
無形資産	13,798	13,865
その他の金融資産	18,896	22,165
繰延税金資産	18,008	19,972
その他の非流動資産	4,218	4,042
非流動資産合計	348,610	392,206
資産合計	864,481	954,715

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	143,964	147,749
社債及び借入金	95,268	141,251
その他の金融負債	6,984	8,629
未払法人所得税等	2,905	7,512
引当金	4,353	4,399
その他の流動負債	42,209	40,717
流動負債合計	295,683	350,257
非流動負債		
社債及び借入金	126,444	132,134
その他の金融負債	13,639	14,774
退職給付に係る負債	22,482	23,203
引当金	579	568
繰延税金負債	1,702	1,668
その他の非流動負債	1,676	1,693
非流動負債合計	166,522	174,040
負債合計	462,205	524,297
資本		
資本金	68,259	68,259
資本剰余金	134,707	139,318
自己株式	△34,455	△34,470
利益剰余金	234,667	256,216
その他の資本の構成要素	△8,806	△1,478
親会社の所有者に帰属する持分合計	394,372	427,845
非支配持分	7,904	2,573
資本合計	402,276	430,418
負債及び資本合計	864,481	954,715

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	751,548	737,439
売上原価	626,654	613,357
売上総利益	124,894	124,082
販売費及び一般管理費	80,674	78,818
その他の収益	2,913	4,065
その他の費用	887	6,813
営業利益	46,246	42,516
金融収益	1,423	1,164
金融費用	1,450	2,039
税引前四半期利益	46,219	41,641
法人所得税費用	9,839	8,627
四半期利益	36,380	33,014
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	35,547	32,984
非支配持分	833	30
四半期利益	36,380	33,014
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	85.64	80.76
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	83.77	78.98

第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	267,650	275,709
売上原価	218,121	228,378
売上総利益	49,529	47,331
販売費及び一般管理費	26,644	27,549
その他の収益	553	763
その他の費用	139	950
営業利益	23,299	19,595
金融収益	462	363
金融費用	515	566
税引前四半期利益	23,246	19,392
法人所得税費用	3,880	3,227
四半期利益	19,366	16,165
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	19,232	16,172
非支配持分	134	△7
四半期利益	19,366	16,165
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	46.35	39.60
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	45.32	38.71

(要約四半期連結包括利益計算書)

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期利益	36,380	33,014
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	994	1,911
確定給付制度の再測定	△197	—
純損益に振り替えられることのない 項目合計	797	1,911
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△499	3,926
キャッシュ・フロー・ヘッジ	16	1,530
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△483	5,456
税引後その他の包括利益	314	7,367
四半期包括利益	36,694	40,381
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	36,126	40,312
非支配持分	568	69
四半期包括利益	36,694	40,381

第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期利益	19,366	16,165
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	1,542	961
確定給付制度の再測定	△197	—
純損益に振り替えられることのない 項目合計	1,345	961
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	10,468	4,059
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△3	603
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	10,465	4,662
税引後その他の包括利益	11,810	5,623
四半期包括利益	31,176	21,788
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	30,860	21,793
非支配持分	316	△5
四半期包括利益	31,176	21,788

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジ
2019年4月1日 残高	68,259	137,464	△19,448	202,172	8,387	△76
四半期利益	—	—	—	35,547	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△234	16
四半期包括利益	—	—	—	35,547	△234	16
自己株式の取得	—	—	△1,181	—	—	—
配当金	—	—	—	△11,624	—	—
子会社の新規取得	—	—	—	—	—	—
非支配持分との取引	—	△2,705	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	△111	—	—
所有者との取引額等合計	—	△2,705	△1,181	△11,735	—	—
2019年12月31日 残高	68,259	134,759	△20,629	225,984	8,153	△60

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	その他の包括利益を 通じて公正価値で 測定する金融資産	確定給付制度 の再測定	合計			
2019年4月1日 残高	2,945	—	11,256	399,703	7,557	407,260
四半期利益	—	—	—	35,547	833	36,380
その他の包括利益	994	△197	579	579	△265	314
四半期包括利益	994	△197	579	36,126	568	36,694
自己株式の取得	—	—	—	△1,181	—	△1,181
配当金	—	—	—	△11,624	△22	△11,646
子会社の新規取得	—	—	—	—	4,904	4,904
非支配持分との取引	—	—	—	△2,705	△5,071	△7,776
利益剰余金への振替	△86	197	111	—	—	—
所有者との取引額等合計	△86	197	111	△15,510	△189	△15,699
2019年12月31日 残高	3,853	—	11,946	420,319	7,936	428,255

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジ
2020年4月1日 残高	68,259	134,707	△34,455	234,667	△8,807	△1,007
四半期利益	—	—	—	32,984	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	3,887	1,530
四半期包括利益	—	—	—	32,984	3,887	1,530
自己株式の取得	—	—	△244	—	—	—
自己株式の処分	—	11	229	—	—	—
配当金	—	—	—	△11,435	—	—
非支配持分との取引	—	4,600	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	4,611	△15	△11,435	—	—
2020年12月31日 残高	68,259	139,318	△34,470	256,216	△4,920	523

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本の構成要素		合計	非支配持分	資本合計
	その他の包括利益を 通じて公正価値で 測定する金融資産	合計			
2020年4月1日 残高	1,008	△8,806	394,372	7,904	402,276
四半期利益	—	—	32,984	30	33,014
その他の包括利益	1,911	7,328	7,328	39	7,367
四半期包括利益	1,911	7,328	40,312	69	40,381
自己株式の取得	—	—	△244	—	△244
自己株式の処分	—	—	240	—	240
配当金	—	—	△11,435	△43	△11,478
非支配持分との取引	—	—	4,600	△5,357	△757
所有者との取引額等合計	—	—	△6,839	△5,400	△12,239
2020年12月31日 残高	2,919	△1,478	427,845	2,573	430,418

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	46,219	41,641
減価償却費及び償却費	34,622	35,965
受取利息及び受取配当金	△1,314	△927
支払利息	1,168	1,195
固定資産除売却損益 (△は益)	△584	△238
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△24,157	△27,469
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△16,823	3,404
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	22,031	△8,036
その他	1,502	4,760
小計	62,664	50,295
利息の受取額	990	684
配当金の受取額	301	253
利息の支払額	△902	△1,169
法人所得税の支払額	△10,347	△6,319
営業活動によるキャッシュ・フロー	52,706	43,744
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△2,117	△608
有形固定資産の取得による支出	△36,999	△33,192
有形固定資産の売却による収入	5,038	1,204
無形資産の取得による支出	△838	△1,005
有価証券の取得による支出	△1,655	△1,257
有価証券の売却及び償還による収入	1,548	1,219
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 取得による収入	47	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 取得による支出	△1,822	△24,160
その他	400	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,398	△57,781

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△8,025	44,671
長期借入れによる収入	50,220	—
長期借入金の返済による支出	△29,253	△4,416
社債の償還による支出	△100	—
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△7,693	△5,377
自己株式の処分による収入	—	240
自己株式の取得による支出	△1,181	△244
配当金の支払額	△11,624	△11,435
非支配持分への配当金の支払額	△22	△43
リース負債の支払額	△2,152	△3,512
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,830	19,884
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,884	△2,096
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,594	3,751
現金及び現金同等物の期首残高	122,432	130,746
現金及び現金同等物の四半期末残高	124,026	134,497

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結
	機械 加工品	電子 機器	ミツミ 事業	ユーシン 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	136,429	290,390	229,821	94,267	641	—	751,548
セグメント間の売上高	4,115	4,234	1,403	—	2,061	△11,813	—
合計	140,544	294,624	231,224	94,267	2,702	△11,813	751,548
セグメント利益 又は損失(△)	30,496	14,839	14,454	2,884	△1,118	△15,309	46,246
金融収益	—	—	—	—	—	—	1,423
金融費用	—	—	—	—	—	—	1,450
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	46,219

当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結
	機械 加工品	電子 機器	ミツミ 事業	ユーシン 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	113,268	268,952	281,617	72,870	732	—	737,439
セグメント間の売上高	3,612	4,203	1,569	—	1,301	△10,685	—
合計	116,880	273,155	283,186	72,870	2,033	△10,685	737,439
セグメント利益 又は損失(△)	22,376	11,969	18,940	689	△1,335	△10,123	42,516
金融収益	—	—	—	—	—	—	1,164
金融費用	—	—	—	—	—	—	2,039
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	41,641

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自社製機械が主な製品であります。

2. 調整額の内容は、次のとおりであります。

セグメント利益又は損失に係る調整額は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費等の全社費用であります。なお、前第3四半期連結累計期間には、タイの労働者保護法改正による退職給付費用2,790百万円が含まれております。

3. 前連結会計年度末において、株式会社ユーシンの取得による企業結合について、暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期連結累計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。